

習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第3期計画(案)に対する
パブリックコメント実施の結果について(案)

パブリックコメント実施期間: 令和元年11月15日(金)~12月20日(金)

意見等の提出者: 4名

意見等の件数: 7件

No.	項目	該当頁	御意見の概要	市の考え方
1	保育所の再編計画	25,26	いずれは全ての保育所が私立化されるのでしょうか。 現在、医療ケアの必要な息子に対して看護師が1名付きっきりの状態で市立保育所にて保育をしていますが、今後保育所の私立化がさらに進んだとき、このような対応をして頂けなくなることを心配しています。 息子と同様に特別な処置が必要な子供のためにも、一定数の市立保育所は残されるべきと思いますが、いかがでしょうか。	将来的に乳幼児人口が減少する中で、市立幼稚園及び保育所は、私立化又は市立こども園に集約されることとなります。 そのため、市立保育所で行っていた医療ケアに係る特別な支援が必要な子どもについては、計画に記載しているとおり、セーフティネットとしての役割も担う市立こども園で教育・保育を実施する方針としております。
2	こども園の整備計画	22~24	藤崎幼稚園と藤崎保育所の統合計画は、幼稚園の入園希望者の減少と長時間保育を希望する保護者の増加を考え、仕方ないことと思います。市全体の「こども園化計画」と一致するところです。 しかし、藤崎幼稚園の場所に「こども園」それも0歳児からのこども園設置には、無理があると思います。 まず、藤崎小学校の校舎が、築50年をもうすぐ迎え、大規模改修工事の早期実施が望まれるところに、幼稚園部分のみ改修・増築工事をするのでしょうか。幼稚園のある西校舎部分の築年数は、少しは若いといっても、築40年は超えているのですから、大規模改修対象の年数です。だからといって、幼稚園部分を取り壊すことは小学校部分の躯体への負荷が大きいのではないのでしょうか。 乳幼児が在籍すれば、調理室も必要です。 またこども園には駐車スペースをどこも取っています。調理室・駐車場を作れば、現在の藤崎保育所より敷地が広い、と考えて本当によいのでしょうか。 向山幼稚園にも言えることですが、住宅地の中にある小学校の校舎を共有している幼稚園がこども園になると、小学生の通学時間帯と長時間保育児の登園が重なり、車登園も問題、さらに、駅に向かう保護者との往來の問題が発生するでしょう。新習志野こども園のように、十分に道路の広い新しい町と、道路整備が不十分な昔ながらの町では、違いがあると思います。 藤崎保育所にこども園の設置が妥当だと思います。藤崎保育所の南側の公園をこども園に取り込めば、敷地は広くなると思います。よって、藤崎保育所跡地での民間保育所の設置は取りやめる、という考えです。 藤崎幼稚園の跡は、藤崎小学校が使用すべきだと思います。支援学級の設置で、教室に余裕がなくなっていますし、藤崎小学校の図書室は狭く、藤崎図書館の閉鎖を考えても、学校図書室の充実を図るために、幼稚園の教室を利用することも一案だと思います。 現在、幼稚園・保育所・こども園を「こども課」が担当し、小学校や図書館は「教育委員会」が担当していることはわかりませんが、小学校の校舎に設置されている幼稚園のこども園化問題は、該当小学校の課題とすりあわせて、さらに、市全体の「公共施設再生計画」により生じる地域の課題や要望も考え合わせて欲しいです。	幼稚園のこども園化では、既存の園舎を活用することを基本としつつ、0~2歳児の保育室や調理室、駐車場を整備する必要があります。また、既存の園舎が小学校の敷地内にあることから、工事期間中の安全確保や、運営開始後の送迎車と児童の登下校の導線を区分するなど、課題が想定されます。 これらの課題に対しましては、来年度以降に設計を開始する予定でありますので、教育委員会をはじめ関係部局と連携を図り、具体的な整備計画において十分に検討する中で、解消していきたいと考えております。 なお、待機児童対策として幼稚園をこども園化する計画としておりますので、ご理解ください。
3	こども園整備の課題と基本的な考え方	2	『私立幼稚園と市立幼稚園の料金格差をなくすようにしてもらいたい』 ・項目5の『こども園構想』の課題に幼稚園児数の減少と書かれている。 市立幼稚園児数が減少している原因の一つに3歳児が対象でないことが語られていない。私立幼稚園への付度とも思える政策をしている。4歳からでは幼児教育や集団生活体験の観点から遅いと感じ、高い入園料を払って3歳から私立幼稚園へ入れるしか選択肢がない。 今さら市立で3歳児教育を、と言っても無理なので私立との料金格差をなくすようにしてもらいたい。	令和元年10月より、幼児教育・保育の無償化が開始され、私立幼稚園(3歳児クラス以上)の保育料についても、所得にかかわらず月額25,700円を上限として無償化されました。 このことにより、全体として市立・私立の保育料の差は縮小されているものと認識しておりますが、今後も無償化事業が適正に執行されるよう、園との連携等に努めてまいりたいと考えております。

No.	項目	該当頁	御意見の概要	市の考え方
4	その他	-	<p>『こども園ありきの政策を見直してほしい』</p> <p>・短時間児、長時間児と生活が違う子どもたちが一つのクラスで保育される状態は、想像すると異質に感じる。聞くとところによると、長時間児がお昼寝の準備をする中、短時間児が帰りの準備をして帰らせている。静と動が同じ時間同じクラスで子どもたちがバラバラになっている。</p> <p>そのような毎日に子どもたちや保護者は違和感や差別感を持っていないのか。こども園のメリット、デメリットについての説明がない。メリットは財政の優遇しか説明がない。こども園に通う保護者やそこで働く保育者などに意見を聞き出してこども園のメリットを聞き出してからこども園を進めていく主張をしてほしい。それが出来ていない現状ならば、こども園構想を安易に進めてほしくない。</p>	<p>習志野市では、一つの中学校区に一つ、地域の拠点となるこども園を整備する構想のもと、計画を推進してまいりました。</p> <p>計画に記載のとおり、地域の子どもたちが保護者の就労等に関係なく、同じ施設で同じ教育・保育が受けられることがメリットと考えています。こども園では長時間児、短時間児が9時から14時までの間は一緒にのクラスで教育・保育を実施しており、それ以外の時間は、長時間児が合同で過ごす大事な時間となっています。</p> <p>現在3歳児の保育に関しましては体力の成長に伴い4月の1時降園を徐々に延長してきた経緯があります。長時間児の午睡と同じ保育室での帰りの支度は行っておりますがつい立て等で仕切り、担任がついてそれぞれの活動ができるよう配慮しております。</p> <p>また、こども園では毎年保護者アンケートを実施しております。「園生活が楽しく充実したものになっている」「保育者や友達と遊んだり生活したりすることを楽しいと感じている」の2項目に関して95%以上の方に、十分達成できている、ほぼ達成できているという評価いただきました。この評価について、計画の達成状況に加えします。</p> <p>引き続き、皆様の御意見等を頂戴しながら子どもたちにとってのよりよい教育保育のために進んでまいりますのでご理解をいただけますようお願いいたします。</p>
5	こども園の整備計画	23	<p>『藤崎こども園の課題の整備が出来てからの着工をお願いしたい。特に園庭の広さを確保して子どもたちが活発に活動できるようにしてもらいたい』</p> <p>・藤崎こども園計画はまだ駐車場や出入口の整備など課題が多い。また園庭も現藤崎保育所よりも狭くなってしまう懸念もある。外での活動は非常に大切なので園庭はしっかり広さを確保してほしい。駐車場も園庭を潰さずに整備してほしい。利用者が納得がいく整備が出来るまではまだ納期ありきの着工をしないでほしい。</p>	<p>(仮称)藤崎こども園の整備に係る課題に対しましては、来年度以降に設計を開始する予定でありますので、教育委員会をはじめ関係部局と連携を図り、具体的な整備計画において十分に検討する中で、解消していきたいと考えております。園庭の広さについては、保育所と同等の幼保連携型認定こども園の基準がありますので、必要面積を確保いたします。</p> <p>また、設計(案)については、保護者に情報提供を行います。</p>
6	幼稚園の再編計画	24	<p>公立の幼稚園を残してほしいです。</p> <p>少子化、園児数の減少や施設の老朽化等の問題は理解できるのですが、利用する側としては預けられればどこでもいいわけではなく、選ぶ理由があって入園を決めています。</p> <p>説明会では、公立で3年保育をしてほしいとの希望に対し、私立幼稚園との住み別けと説明されましたが、公立が3年保育をしていないので仕方なく私立を選んでるケースもあり、選択の機会を奪われていると思います。</p> <p>待機児童が多いならこども園にして長時間児の枠を設けるのではなく、保育園を拡張、短時間児の枠は幼稚園でとては出来ないのでしょうか？こども園の三歳児枠も少なくて抽選確率も高いですし、預ける方のニーズとミスマッチ感は否めません。</p>	<p>今までの幼稚園教育において、3歳児からの教育は私立幼稚園、4歳児からの教育は市立幼稚園で実施し、役割分担をしながら行ってきました。</p> <p>今年度より市立こども園で3歳児教育をスタートしましたが、乳幼児人口が減少する中、本市の市立幼稚園は将来的には同一中学校区の市立こども園に統合し、3歳児教育は市立こども園で実施していく方針としております。3歳児教育の定員については、新たに整備する2か所の市立こども園と、既存市立こども園において、拡大を予定しております。</p> <p>また、待機児童対策として幼稚園をこども園化する計画としておりますので、ご理解ください。</p>
7	その他	-	<p>公立は小学校との交流が盛んで、在園中に小学生と交流会があったり体育館や校庭を利用して小学校を身近に感じていて、入学で環境が大きく変わる事へのハードルを下げていて子供も親も不安が少ないです。先生方は多様な園児達の個性に合わせた指導をしてくれますし、子供の自立心や自主性を育ててくれます。</p> <p>こういったメリットを広く地域に広報する機会があってもいいのではないのでしょうか。</p>	<p>習志野市の教育・保育に御理解をいただきありがとうございます。小学校との交流につきましては、公立幼稚園だけでなく、市内の保育施設とも連携し取り組んでおります。市内市立保育施設は「習志野市就学前保育一元カリキュラム」に基づき、教育・保育を行っております。地域の行事や市のイベント等に積極的に参加し、市立施設の保育を地域の方にアピールする機会を設けております。</p> <p>また、私立施設の一部においても、小学校との交流を行っている園があり、また、それぞれの教育・保育理念に基づいた教育・保育を実施しております。</p> <p>いずれにしましても、今後も広く地域の方々に、各施設の特色を御理解いただけるよう努めるとともに、施設ごとのホームページなどを活用し、周知してまいります。</p>